

## 令和 7 年度 県立佐和高等学校 学校関係者評価表

| 評価項目                                 | 評価  | 評価者からの意見等   |
|--------------------------------------|---|---|
| 1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か         | <input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である (4名)<br><input type="checkbox"/> B おおむね妥当である (1名)<br><input type="checkbox"/> C あまり妥当でない<br><input type="checkbox"/> D 妥当でない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの課題等を踏まえ、重点5項目の各目標を「概ね以上に達成」されている。</li> <li>・校務分掌ごとに、主な取組をもとに成果と課題を掲げており、PDCA のあり方の参考になる。</li> <li>・生徒・保護者双方へのアンケートの質問内容等も適切である。</li> <li>・授業満足度など客観的数字を用い評価し、生徒たちの満足度は比較的高い。その他、適切な評価である。</li> </ul>  |
| 2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か | <input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である (3名)<br><input type="checkbox"/> B おおむね妥当である (2名)<br><input type="checkbox"/> C あまり妥当でない<br><input type="checkbox"/> D 妥当でない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「具体的方策」に「ICTの活用」という表現が多用されているが、具体的方策をよりイメージできる表現で表記されたい。</li> <li>・自己評価は妥当と判断します。</li> <li>・昨年度からの課題を踏まえ、解決に向け取り組んでいることが分かる。</li> </ul>   |
| 3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか              | <input checked="" type="checkbox"/> A 十分把握している (3名)<br><input type="checkbox"/> B おおむね把握している (2名)<br><input type="checkbox"/> C あまり把握していない<br><input type="checkbox"/> D 把握していない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「次年度への主な課題」は抽象的なものが散見される。次年度の「具体的目標」につながる課題把握も検討されたい。</li> <li>・主な課題を学校として十分把握していると考えます。</li> <li>・挙げられていた各教科、各分掌からの課題を管理職側がどのように捉えているのかが見えづらい。</li> </ul>  |
| 4. 学校の改善方策への対応は適切か                   | <input checked="" type="checkbox"/> A 適切である (3名)<br><input type="checkbox"/> B おおむね適切である (2名)<br><input type="checkbox"/> C あまり適切でない<br><input type="checkbox"/> D 適切でない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己評価表」から、「おおむね適切である」と想像できるが、この様式及び内容からは、「学校の改善方策への対応が適切か」どうかを読み取りづらい。</li> <li>・特に、授業改善を目的とした「生徒と教員による意見交換会」を行い、かつ全教員で共有しているとの点が評価できる。</li> <li>・学校側の課題に対する改善策は適切であると判断します。さらなる成果に向けた取組みを期待します。</li> </ul>   |
| 5. 特色ある学校づくりは推進されているか                | <input type="checkbox"/> A 十分推進している (2名)<br><input checked="" type="checkbox"/> B おおむね推進している (2名)<br><input type="checkbox"/> C あまり推進していない (1名)<br><input type="checkbox"/> D 推進していない | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓「君の心に聴け」を基盤とした「豊かな心の育成」が伝統となっている。加えて、近年はICTを活用した授業改善等に重点を置きながら、生徒一人一人に寄り添った教育並びには地域に開かれた学校づくりが推進されている。</li> <li>・「いかに他校との差別化を図るか」という部分がより具体的に示していただけるとよりよいと思います。</li> <li>・特色ある学校づくりが広報活動などの情報発信につながり、本校を志望する生徒が増えることを望みます。引き続き活動の推進を願います。</li> <li>・学校としてどのような特色を出したいのかがあまり見えてこない</li> </ul> |

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。